

# 文学的文章の読解を通じた多角的思考力の向上 — 本文の記述を根拠とした討論活動 —

- 1 科目名 現代文B
- 2 単元名 小説2
- 3 教材名 安部公房「鞆」
- 4 単元の内容

単元の目標 と評価規準 ・評価方法	<p>①単元の目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ア 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりしようとする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>イ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。 (読む能力)</p> <p>ウ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 (知識・理解)</p> </div> <p>②単元の目標設定の理由</p> <p>授業には真面目に取り組む生徒が多く、グループ活動等にも積極的に参加しようとする姿勢がある。しかし、そのグループ活動や小論文等、表現する活動の中で、根拠を明示することや様々な視点から思考する力が不足していると思われる。その力を身に付けるために、「鞆」という教材を用いて、丁寧な本文分析と他者との意見交流による多角的な思考をしていく。また、卒業を控えた3年生を対象としており、社会で生きていく上での考え方の深化も期待できる題材である。</p> <p>③中心となる学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「鞆」によって行き先が決められてしまう「青年」が、「自由」であるか「不自由」であるか、自分なりに意見をまとめ、他者と交流することで内容理解を深める。</li> <li>・自らの明確な意見をもつためには、本文を丁寧に読む必要があり、また、説得力ある意見とするには批評的に考える力も求められ、②の目標を達成するための活動といえる。</li> </ul> <p>④言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・討論活動を取り入れる。説得力ある意見を構成しようとする中で、単元目標イで述べたような力や、批評的にものごとを考える力の向上が期待できる。</li> <li>・討論を中心的な活動と設定することで、それまでの準備としての読解活動への意欲の向上や、対面コミュニケーションの力の向上も期している。</li> </ul> <p>⑤評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 35%;">評価規準</th> <th style="width: 30%;">評価方法</th> <th style="width: 25%;">状況Cの生徒への対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">関心・意欲・態度</td> <td>                     ①登場人物の生き方、考え方について、自分の考えを深めようとしている。                      ②他者との意見交流を通して、自らの考えを深めようとしている。                 </td> <td style="vertical-align: top;">                     観察 (机間指導) (発言)                      点検 (ワークシート)                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の経験と重ね合わせて考えるよう助言する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">読む能力</td> <td>                     ①登場人物のおかれた状況を的確に読み取り、心情について、本文を根拠として解釈している。                      ②他者の意見をふまえて、自らの考えを深めている。                 </td> <td style="vertical-align: top;">                     観察 (机間指導) (発言)                      点検 (ワークシート)                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考える糸口となる部分を示す。</li> <li>・グループ内で意見を交流するよう助言する。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応	関心・意欲・態度	①登場人物の生き方、考え方について、自分の考えを深めようとしている。 ②他者との意見交流を通して、自らの考えを深めようとしている。	観察 (机間指導) (発言) 点検 (ワークシート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の経験と重ね合わせて考えるよう助言する。</li> </ul>	読む能力	①登場人物のおかれた状況を的確に読み取り、心情について、本文を根拠として解釈している。 ②他者の意見をふまえて、自らの考えを深めている。	観察 (机間指導) (発言) 点検 (ワークシート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考える糸口となる部分を示す。</li> <li>・グループ内で意見を交流するよう助言する。</li> </ul>
	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応										
関心・意欲・態度	①登場人物の生き方、考え方について、自分の考えを深めようとしている。 ②他者との意見交流を通して、自らの考えを深めようとしている。	観察 (机間指導) (発言) 点検 (ワークシート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の経験と重ね合わせて考えるよう助言する。</li> </ul>										
読む能力	①登場人物のおかれた状況を的確に読み取り、心情について、本文を根拠として解釈している。 ②他者の意見をふまえて、自らの考えを深めている。	観察 (机間指導) (発言) 点検 (ワークシート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考える糸口となる部分を示す。</li> <li>・グループ内で意見を交流するよう助言する。</li> </ul>										

	知識・理解	①語句の意味、用法を的確に理解している。 ②作品の特色である虚構性について理解している。	観察（机間指導） 点検（ワークシート）	・身近なものとの関連で考えるよう助言する。
成果と課題	<p>「討論」という活動を行う中で、本文と真剣に向き合う姿勢や根拠を明確にしようとする意識が見られ、小説の読解を通じた思考力の向上に一定の効果があったと思われる。また、討論を進める中で、話すことが苦手な生徒が的を射た内容の発言をすることもあり、その姿を認めていくことで表現力の向上にもつながったのではないかと考えている。</p> <p>生徒から出される意見が偏っており、多角的な思考力を身に付けるという目的に関しては不十分であった。準備の段階で、文学的文章を分析していく上で重要となる様々な視点を提示して考えさせる必要があると考える。</p>			
アドバイス及び留意点	<p>討論という形態に慣れていないと円滑に活動を進めることができない。そのため、同じような活動を繰り返し行い、生徒が要領をつかむことができれば内容の濃い討論になるのではないかと考えられる。相手の意見の要点を的確に捉え、自分の意見を端的に話す能力が求められるため、生徒の状況によっては不向きな活動となる場合もある。</p> <p>評価者が感想を発表する場を設けたり、討論中に同じ生徒が続けて発言することを禁じたりと、全ての生徒が参加し思考し続けている活動となるように工夫したい。</p> <p>生徒の発言には主観的なものもあるため、その後の教員の解説の中で読みのずれを指摘できるよう準備しておきたい。</p>			
小中学校との系統性	<p>①（中学校・3年・読むこと）文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。</p> <p>②（中学校・3年・読むこと）文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。</p> <p>③（中学校・3年・読むこと）文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。</p>			

## 5 単元の学習概要

時間	各時間の目標	主な学習活動の流れと指導上の留意点	評価規準 ↓ 評価方法	状況Cの生徒への対応 ↓ 次時に注意すること
1	<p>○本文全体の流れを把握する。</p> <p>○「自由」が本文全体のテーマであることを理解する。</p>	<p>・本文を音読し、おおまかなストーリーを整理する。 【ア】</p> <p>・感想を交流し、キーワードとなる語句を見付ける。 【ア】</p> <p>・「自由」が一つのテーマであることを理解する。 【ア】</p> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語句調べは宿題とする。</li> <li>・グループは3～4人で構成する。</li> <li>・活動形態の指示を明確に行う。</li> </ul>	<p>ストーリーを把握し、「自由」が小説全体のテーマであることを理解する。 【読】</p> <p>積極的に考え、発表しようとしている。 【関】</p> <p>↓</p> <p>机間指導 発問 観察（ワークシート）</p>	<p>個別で指導し、登場人物の言動を整理させる。 グループ内で進捗状況の良い生徒に助言を求めさせる。</p> <p>↓</p> <p>次時の最初の段階で学習内容の確認をする。</p>
2	<p>○登場人物の「自由」について、自らの考えをもち、交流する。</p>	<p>・「青年」は「自由」であるか「不自由」であるか、自分の意見をもつ。 【イ】</p> <p>・グループで意見を交流し合い、考えを深める。 【イ、言ア】</p> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を根拠として考えをまとめさせる。</li> <li>・同じ考えをもつ生徒でグループを構成する。</li> </ul>	<p>本文から読み取ったことを根拠とした意見を書くことができ、他者との交流を通してそれを深めることができる。 【関】【読】</p> <p>↓</p> <p>机間指導 観察（ワークシート）</p>	<p>前時に学習したことや、登場人物の心情が表れやすいポイントを示す。</p> <p>↓</p> <p>ワークシートの記述を点検する。</p>

3	○グループ毎に討論の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・討論に向けた意見交流をグループで行う。【イ、言ア】</li> <li>・自分たちとは反対の意見を想定して、自分たちの主張の構成をする。【ウ、言ア】</li> </ul> *留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・批評的な視点をもつことの重要性を示す。</li> </ul>	批評的に自分たちの意見を再考し、考えを深めることができる。【関】【読】 ↓ 机間指導 観察（ワークシート）	生徒が気付いていない視点を示す。 ↓ ワークシートの記述を点検する。
4 本時	○討論を行い、小説の詳細な理解をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表の2グループによる討論を行い、他の生徒は記録と評価をする。【言ア】</li> <li>・討論で出た意見を整理し、作者が描こうとしたものについて考察する。【イ】</li> </ul> *留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・討論のルールを周知する。</li> <li>・評価者には討論終了後に、議論内容のまとめを発表させる。</li> </ul>	他者の考えを理解し、積極的に発言をしようとしている。【関】 他者の多様な考えをもとに、自分の考えを深めたり、発展させたりしている。【読】 ↓ 観察	自分とは異なる意見について注目するよう促す。 ↓ ワークシートの記述を点検する。
5	○「自由」について自分の考えをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに学習したことを踏まえて、自分にとっての「自由」について考え、400字以内の文章にまとめる。【言イ】</li> <li>・小説の虚構性について理解する。【イ】</li> </ul> *留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の生き方や、社会における在り方についても考えるよう指導する。</li> </ul>	学習したことをまとめ直し、自分の生き方に関連させた考えを書くことができる。【関】【書】 ↓ 観察（ワークシート）	自分の進路と重ね合わせて考えるよう助言する。

6 第4時の学習指導案

本時の位置	4 時間目（全 5 時間）		
本時の学習目標	ア 本文中の表現を取り上げながら自分の意見を述べたり、他者の発言の妥当性を判断しながら聞いたりしようとする。 イ 根拠を明確にして本文を読解し、他者の意見を参考に、小説のテーマについて多面的に考察する。（読む能力）		
事前の準備	① 前時までに各グループの主張を把握し、代表のグループを選出しておく。 ② 討論のルールを周知しておく。 ③ ワークシートを用意しておく。		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 5分	□前時までの学習内容の振り返りと、本時の流れの確認をする。	①「青年」についての自らの意見を確認する。 ②討論のルールを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文のストーリーと、前時までの学習の内容を確認する。</li> <li>・本時の最後に作品のテーマについてまとめ直し、深めることを目標とすることを指示する。</li> </ul>

<p>展開</p> <p>40分</p>	<p>□ 討論を通して、本文のテーマについての読解を深める。</p>	<p>「青年」は「自由」であるか「不自由」であるか討論しよう。</p> <p>③各グループの主張を発表する。(各3分)</p> <p>④質疑応答を行う。</p> <p>⑤各グループで主張をまとめる。</p> <p>⑥最終弁論を行う。</p>	<p>目標 ア に対する評価規準と評価方法 〔規準〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し手は、自分の考えを本文のどの部分を根拠としているのか明確にして説明しており、聞き手は、話し手の論旨を的確にとらえている。</li> </ul> <p>〔方法〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察(発言) ・点検(ワークシート)</li> </ul> <p>〔状況Cの生徒への手立て〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発言者が偏らないことも評価対象であることを伝え、発言を促す。</li> </ul>
	<p>□ 小説のテーマについて、多面的な視点から考察する。</p>	<p>作者はどのようなことを描こうとしたのか考察しよう。</p> <p>⑦評価者が、討論内容について感想発表をする。</p> <p>⑧討論で出た主張を参考にして、作者の描こうとしたものは何か、ワークシートに記入する。</p> <p>⑨全体交流をしてまとめる。</p>	<p>・登場人物の言動、文章表現、ストーリー構成など様々な点から解釈ができることを理解させる。</p> <p>・「自由」という抽象概念について記述できた生徒については、「鞆」が具体的にどのようなものを指すのか考えさせる。</p> <p>目標 イ に対する評価規準と評価方法 〔規準〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文を根拠とし、他者の意見を参考にして、作者が描こうとしたものについて考察している。</li> </ul> <p>〔方法〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>点検(ワークシート)</li> </ul> <p>〔状況Cの生徒への手立て〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>討論時に、作者の視点について述べられた意見を振り返るよう助言する。</li> </ul> <p>・作者の創作意図については様々な解釈ができ、他の作品との関連性を分析することが、更なる理解につながることを示す。</p>
<p>まとめ</p> <p>5分</p>	<p>□ 本時の学習について振り返りをする。</p>	<p>⑩本時の目標に対する反省をワークシートに記入する。</p> <p>⑪ワークシートを提出する。</p>	<p>・次時では自分にとっての「鞆」は何かを具体的に考えることを示す。</p>